

農業農村部がアフリカ豚コレラの防疫作業状況について記者会見を開催

http://www.moa.gov.cn/hd/zbft_news/fzzwfkgz/

農業農村部 2018 年 11 月 23 日プレスリリース

摘要：

農業農村部は、2018 年 11 月 23 日（金曜日）午前 10 時に農業農村部報道室で記者会見を開き、アフリカ豚コレラの防疫状況について、記者の質問に回答した。

出席者：

農業農村部畜牧獣医局 馮忠武副局長

中国動物衛生・流行病学センター 黄保続副主任

（農業農村部事務室 寧啟文副主任）

（挨拶）「アフリカ豚コレラ防疫状況の紹介」がこの度の会見のテーマである。本日は、農業農村部畜牧獣医局の馮忠武副局長と中国動物衛生・流行病学センターの黄保続副主任にお越しいただいている。まずは、馮忠武副局長から皆様へご説明いただく。

2018-11-23 10:00:18

（馮忠武）

まずは当方から最近のアフリカ豚コレラの発生状況と防疫状況についてお話したい。中国共産党中央委員会と国務院はアフリカ豚コレラの防疫について高い関心を持っている。習近平総書記、李克強総理、胡春華副総理などは幾度も重要な指示を出し、国務院で常務会議、專題会議、テレビ電話会議を開催し、アフリカ豚コレラの防疫に係る作業計画や人員の配置等を行ってきた。また、国務院はこれまでに 2 度、防疫作業に係る通知（①《国务院办公厅关于做好非洲猪瘟等动物疫病防控工作的通知》国办发明电(2018)10 号、②《国务院办公厅关于进一步做好非洲猪瘟防控工作通知》国办发明电（2018）12 号）¹を發出し、感染拡大と蔓延を断固として防ぎ、疾病の撲滅に至るよう要求してきた。

2018-11-23 10:00:37

（馮忠武）

¹ ①は 2018 年 8 月 30 日頃、②は 2018 年 10 月 23 日頃に發出。ただし、中華人民共和国中央人民政府 HP の通知一覧 (<http://www.gov.cn/zhengce/xxgkztl.htm>) において未公開のため、正確な發出日時は不明。
①に基づく農業農村部での記者会見：http://www.gov.cn/zhengce/2018-09/01/content_5318271.htm
②に基づく農業農村部での記者会見：http://www.gov.cn/zhengce/2018-10/24/content_5334211.htm

農業農村部は、8月初旬における最初の発生以前より、アフリカ豚コレラの侵入リスクの高さと脅威の大きさを鑑み、海外での発生状況の追跡、国内のリスクモニタリング、予防技術の研究開発、資材備蓄等、各方面において防疫準備を行っていた。疾病発生後は、農業農村部は幾度となく部の常務会・專題会議およびビデオ会議を開き、アフリカ豚コレラの防疫について具体的な計画を示してきた。

サーベイランス、食品残渣給餌、疫区の豚およびその製品の対外運搬、豚の輸送車両の管理、末端（現場）における防疫能力の向上等各種措置を厳格に実施し、疾病の拡散・蔓延防止に努めてきた。作業データは、厨房廃棄物の摂取による感染が50%から34.3%に減少し、豚の搬入による感染が35.3%から19.4%に減少したことを示している。また、農業農村部は、各関連部門と協力し、アフリカ豚コレラの第2レベルの警告を速やかに発出し、18部門とともにアフリカ豚コレラ共同予防・管理体制を確立したうえで、3回に渡る全国ビデオ会議を開催し、14の共同監督チームを編成した。

2018-11-23 10:02:20

（馮忠武）

現在、アフリカ豚コレラの防疫作業は効果的に実施されている。8月初旬に我が国で初めてアフリカ豚コレラが発生して以来、11月22日までに、20省（区・市含む）、47の市（区・盟含む）において、豚で73例、野生いのししで1例確認されており、殺処分された豚の累計は60万頭である。既に7省24の疫区が規定により封鎖解除され、うち河南省と江蘇省の疫区は全て封鎖解除となっている。アフリカ豚コレラの発生状況は、多点分布を示しており、安定傾向にあり、予防・管理も有効になされているため、総合的に評価すれば、制御可能な状況にあるといえる。国連食糧農業機関などの国際機関や関連諸国からは、我が国のアフリカ豚コレラの防疫状況について、中国政府はアフリカ豚コレラの予防・管理に重点を置いており、防疫措置も効果的で、疾病発生状況の情報にも透明性があり、発生数・損失も最低限に抑えられているとの肯定的な評価が得られている。

2018-11-23 10:03:45

（馮忠武）

しかし、アフリカ豚コレラの防疫現状は依然として深刻であることに留意しなければならない。国外ではアフリカ豚コレラが續発しており、我が国と非清浄国間の人員や貨物の往来が盛んであることに加え、アフリカ豚コレラには潜伏期間が長いという特徴が有るため、再び国外より侵入するリスクが高い。国内の状況を見ると、我が国には2600万の小規模農家があり、それらの飼養方式は後進的で、バイオセキュリティ水準も低く、豚の生産・消費は地域内において不均一で、長距離の豚やその製品の運搬を長年にわたり継続しており、これらの要因が疾病の予防・管理の難度を大幅に増加させている。最近は、特に主要産地を中心とした省で依然として疾病発生が増加しており、総合的に言えば、予防・管理の任務は相当に困難で、緊急性がある。アフリカ豚コ

レラを根絶した国家は、根絶のために、ある国では5年、またある国では30年もの時間を要しており、我々は、この疾病に係る防疫の複雑さと長期性を十分認識している。次のステップでは、農業農村部は、4つの側面に焦点を当て、アフリカ豚コレラとの戦いに断固として打ち勝つため、中央委員会の決定した方策を引続き実施してゆく。

2018-11-23 10:07:48

(馮忠武)

4つの側面とは、1に防疫措置の強化、2に侵入防止の強化、3に安定した生産・供給の確保、4に責任の追及である。只今からは、皆様の質問にお答えしてゆきたい。

2018-11-23 10:09:38

(寧啟文)

馮忠武副局長、ご説明ありがとうございました。記者の皆様におかれましては、質問の前にご所属をお教えください。

2018-11-23 10:09:56

(經濟日報記者)

アフリカ豚コレラはどこから侵入したのか。また、国内ではどのように感染拡大したのか。

2018-11-23 10:11:10

(馮忠武)

この質問には、中国動物衛生・流行病学センターの黄保続副主任が回答する。

2018-11-23 10:13:28

(黄保続)

まず、この疾病は国外から侵入したものである。なぜなら、今まで我が国において、アフリカ豚コレラ発生の前例は無かったから。分子流行病学研究によれば、我が国に侵入したアフリカ豚コレラウイルス遺伝子はII型であり、グルジア、ロシア、ポーランドが公表している遺伝子配列と99.95%相同する。

通常、アフリカ豚コレラが国境を越えて侵入する場合、4つの経路がある。1つは豚および豚肉製品の貿易や密輸によるもの。2つ目は旅客の豚肉製品の携帯品。3つ目は航空機や船舶上で出た食品残渣。4つ目は野生いのしし。

我が国で初めてアフリカ豚コレラが発生した後、我々は直ちに疫学調査を展開し、その結果、侵入経路は先に述べたうちの幾つかであると考えられる。現在も詳細な侵入経路について調査を継続している。

国内における感染経路については、1例目発生以降、発生の度に調査を行っている。既に感染源

が判明している 68 例については、感染経路が 3 種類に分けられる。

1 つ目は豚やその製品の地域を越えた運搬である。これにより発生した例は 13 例あり、全体の 19%である。

2 つ目は食品残渣の給餌である。これにより発生した例は 23 例あり、全体の 34%である。

3 つ目は人や車両がウイルスの運び手となるケースである。これにより発生した例が主要であり、全体の 46%である。これについて、農業農村部は 11 月 1 日に、生きた豚を運搬する車両の監視・管理に関する新たな要求を公告したところである。

2018-11-23 10:16:59

(人民日報記者)

農業農村部の公表する情報には毎回「有効な処置を得ている」とあるが、なぜ発生件数は依然として増加しているのか。我が国のアフリカ豚コレラ発生はどのような経過を辿るのか、予測できるか。

2018-11-23 10:22:42

(馮忠武)

アフリカ豚コレラ発生の度に、我々は速やかに専門チームを現場に派遣し、封鎖・殺処分・消毒・無害化処理等の緊急措置の指導・協力を行っている。これまでの豚 73 例、野生いのしし 1 例について、これらの措置は厳格に行われており、2 度目の発生は起こっていない。

発生件数が増加を続けているのは、以下の 4 つの要因があると考えている。1 つ目は我が国の国境線が長く、国際交流が盛んで、疾病の侵入リスクが高いこと。2 つ目はアフリカ豚コレラには、早期発見や予防が難しいという特性があること。感染後、3 週間もの間臨床症状が現れず、その間にあらゆる経路でウイルスが運ばれる可能性が高いこと。3 つ目に、我が国の国民が肉食を好み、多くの豚が長距離輸送され、車両の消毒やブローカーの管理が維持されなかったこと。4 つ目に、我が国に小規模農家が非常に多いこと。小規模農家のバイオセキュリティレベルは低く、食品残渣給餌の習慣があるため、感染拡大のリスクが高い。

(馮忠武)

アフリカ豚コレラは 1921 年にケニアで初めて発生し、現在までに 60 カ国で発生している。今年、世界的に見ても、アフリカ豚コレラの発生が例年よりも深刻で、新たに発生した国の数は前年比で 30%増加し、発生件数は 10.7%増加した。現在までに、ルーマニア、ハンガリー、ポーランド、南アフリカなど 15 カ国で 4,400 件以上の発生があり、一部の国では大規模に発生している。

8 月以降、72 例のアフリカ豚コレラ発生が確認されており、8 月に 4 例、9 月に 20 例、10 月に 27 例、11 月に 22 例発生している。仮に中国政府が確固たる措置を講じていなければ、発生数は、70 件どころか、7000 件にも及ぶだろう。これはまた、アフリカ豚コレラの予防・管理の課

題が依然として困難であることを示している。

2018-11-23 10:27:30

(中央人民広播電台記者)

先ほど局長が示したように、野生いのししにもアフリカ豚コレラの症例があり、吉林省で発生が報告されているが、国内の豚での発生との関係はどのようなものか、アフリカ豚コレラ発生にどのような影響を及ぼすか。

2018-11-23 10:28:20

(黄保続)

吉林省白山市渾江区の野生いのししにおけるアフリカ豚コレラが発生した後、国家林草局は直ちに監督チームを派遣し、疫学調査を開始した。死んだ野生いのししをサンプリングし、検査した結果、吉林白山市の野生いのししから採ったウイルス遺伝子は、飼養豚のウイルス遺伝子と明らかに異なっていることが判明した。同時に、畜牧獣医部門は、死亡した野生いのししの周辺地域において、サンプリング試験および疫学調査を実施したが、飼養豚における症例は確認されなかった。調査・検査結果から判断すると、野生いのししでの発生は飼養豚での発生に直接関係せず、飼養豚から野生いのししに感染したわけではないことは明らかである。 野生いのししの例は、森林に覆われた野生いのししが多く生息する国境地帯での発見であるため、海外から侵入した可能性が高い。

野生いのししの活動範囲は複雑で、人間のコントロールに容易に影響されない。アフリカ豚コレラが野生いのししの間で拡大を続けると、予防が非常に困難になる。また、アフリカ豚コレラウイルスは寒さに強く、低温条件下では生存能力が高く、生存期間が長くなる。また、冬には野生いのししが食べ物を求め、農家周辺に侵入し、飼養豚に感染するリスクが高まる。農業農村部と森草局は野生いのししの調査を強化し、いのしし繁殖農家に対する監督を強化し、アフリカ豚コレラが飼養豚と野生いのししを介して伝播する経路を断つよう努めている。

2018-11-23 10:35:49

(中央人民広播電台記者)

私の伺いたい問題は、アフリカ豚コレラの発生後、農業農村部が輸送手段を制限する措置を講じていることである。これは現在の豚の生産にどのような影響があり、元旦や春節の豚の供給に影響を及ぼすか。

2018-11-23 10:37:20

(馮忠武)

現状からいえば、豚の生産方式は輸送規制に適応しつつあり、全国の豚の供給と価格は概ね安定している。生産面では、生豚は前年同期比 0.1%増の 4 億 9,600 万頭となり、豚肉生産高は 3843

万トンとなり、前年度比0.3%増（10万トン増）となった。2017年に出荷された6億8,900万頭と比較すると、アフリカ豚コレラにより殺処分となった豚（60万頭）は全国市場のわずか0.087%²であり、直接的な影響は少なく、市場の供給は総合的に見て安定している。

我々はまた、豚とその製品の地域間輸送を制限することが、一部の企業の生産・供給に影響を与えることに留意している。繁殖豚は本来輸送の範囲を限定されていなかったため、企業にとって大きな問題となる。この点に関して、我々は既に適切な取り決めをしている。

第1に、交通監督をさらに改善し、疾病を確実に制御できることを前提とした豚の輸送を確保する。第2は、既存の屠殺場を合理的に配分・活用し、地方ごとにと畜するよう指導し、疫区におけると畜の負担を軽減する。第3は、関連部門間で協力し、主要生産地方省と主要販売地方省間の「点から点」方式の輸送を強化し、市場価格を安定させることである。実際には、この措置は、省内では既に実施されており、現在、条件に符合する農場および屠殺場の「点から点」の輸送方式を確立させ、指定経路に従って豚を指定屠畜場へ輸送し、関連製品は検疫を通過した後販売可能となるよう、省級畜牧獣医部門に対し審査の要求をしているところである。

2018-11-23 10:43:47

（農民日報記者）

疾病発生後、一部の消費者は豚肉を食べることが安全かどうか、または豚肉の供給を中断するレストランや食堂があるかどうかを心配している。

2018-11-23 10:54:27

（黄保続）

アフリカ豚コレラは人獣共通感染症ではなく、人は勿論、豚以外の動物に感染することもないため、食品安全性には影響しない。また、世界保健機関、国連食糧農業機関、OIEなどの国際機関は、アフリカ豚コレラを人獣共通感染症および多種動物共通感染症として区分していない。国の研究者は、イヌ、ラット、ウサギなどの10種類以上の動物にアフリカ豚コレラのウイルスを接種し感染実験を行ったが、いずれも感染は認められなかった。アフリカ豚コレラが初めて発見されて以来、約100年が経過しているが、未だアフリカ豚コレラが人に感染する例は存在しない。したがって、検疫を経た豚肉は安全に食べることができる。

2018-11-23 10:55:46

（財經雑誌記者）

食品流通の過程でアフリカ豚コレラウイルスが混入し、排水を通じて農場等豚に入る可能性がある。これについてどのように評価するか。

2018-11-23 10:58:03

² 60万 / 6億8900万 = 0.087 / 100

(馮忠武)

既に説明したように、我が国でのアフリカ豚コレラ発生の要因の1つは、食品残渣給餌である。したがって、国务院の通知や我々が策定した管理措置の中にも、餌として食品残渣を使用することを禁止する旨を明確に規定している。この目的は、食品残渣給餌による感染リスクを避けることにある。

2018-11-23 11:02:15

(新華網記者)

農業農村部は、アフリカ豚コレラは人獣共通感染症ではなく、食品安全性に影響しないとしているが、一方、感染した豚はすべて殺処分・埋却している。これは無駄かつ矛盾する作業ではないのか。

2018-11-23 11:04:49

(馮忠武)

ここで私は再び、アフリカ豚コレラは人獣共通感染症ではなく、食品安全に影響しないことを強調したい。1921年にケニアでアフリカ豚コレラが発見されて以来、世界60カ国以上でアフリカ豚コレラが発生し、この結論が確認されている。噂に惑わされず、アフリカ豚コレラを科学的にとらえ、安心して豚肉を消費してほしい。

今年8月に中国でアフリカ豚コレラが発見されて以来、我々は疫区の豚全てを殺処分・化製処理もしくは埋却し、無害化処理を行っている。疫病の流行を防ぎ、養豚業を守ることが主要目的である。疫区内の生きた豚は、リスクの高い感染源であるため、生きた豚、豚肉または豚肉製品は、疫区から搬出してはならない。そうしなければ、容易に疾病の拡大につながる。事実、疫区の豚の殺処分と無害化処理だけでなく、飼育舎や運搬車の徹底的な洗浄・消毒、および農業廃棄物の無害化処理により、全ての隠れたリスクを除去する。

2018-11-23 11:05:47

(NHK記者)

私は2つの質問をしたい。1つは、今年8月にアフリカ豚コレラが発生したとき、農業農村部は効果的な処置を行ったというが、今や多くの省で発生している。私はアフリカ豚コレラ拡大の原因が何か、なぜ完全に制御されていないのか尋ねたい。2つ目は、農業農村部の通知に、一部の家畜獣医スタッフが法律を守らず、義務を怠っていると指摘があったことについて、具体的な状況を教えてほしい。

2018-11-23 11:06:45

(馮忠武)

あなたが尋ねた最初の質問は、既に防疫状況について紹介した際、説明済みであるため、重複し

た説明はしない。第 2 の問題は、末端に位置する職員の行為に限ったものである。現在我々が予防・管理について要求している内容の一つは、防疫措置が確実に行われるために、すべての地域に責任追及の体制を段階的に確立することである。私たちは、法令違反を決して容認せず、断固として責任を追及する。以前、違反行為について対外的に公表したことがあった³が、その目的は、警鐘を鳴らし、職務や任務を完全に履行させることである。

2018-11-23 11:08:57

(寧啟文)

時間が迫ってきたため、本日の会見はこれにて終了する。他にも質問があれば、会見後にコンタクトしてほしい。ご来場いただき、感謝する。

³ 2018年9月29日農業農村部より公表

(農業農村部 HP : http://www.moa.gov.cn/govpublic/SYJ/201809/t20180929_6159661.htm)